

令和6年度 第3回松本市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 会議録

日 時	令和7年1月29日（水） 午後1時30分から午後3時まで
会 場	松本市役所 本庁舎3階 大会議室
出席者	委員10名（欠席者2名）
次 第	1 開会 2 あいさつ 3 会議事項 （1）報告事項 ア 松本市認知症施策推進計画の策定について イ 保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金（インセンティブ交付金）について ウ 地域密着型サービス事業者等の指定について （2）協議事項 ア 令和7年度における施設・居住系サービス事業者の公募について イ 令和7年度における地域密着型サービス事業者等の公募について 4 その他 5 閉会
あいさつ	高木高齢福祉課長があいさつをした。
会議事項	3 会議事項 （1）報告事項 ア 松本市認知症施策推進計画の策定について、事務局から資料に基づき説明があった。 【質疑応答】 なし イ 保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金（インセンティブ交付金）について、事務局から資料に基づき説明があった。 【質疑応答】 ≪委員≫ 交付額でみると令和5年度は65,398千円で、令和6年度は58,350千円と低くなっているがどういったことか。 ≪事務局≫ 同規模自治体中の順位は上がっているが、国の予算が約50億円減額に

なったことが理由である。松本市に限らず他自治体も影響を受けている。

《委員長》

介護人材の項目は全部×で交付金配点が0になっている。

この辺りについて次年度に向けた取組みの見込みはあるか。

《事務局》

今回報告した令和6年度の結果は、令和5年度の取組みが反映されている。今年度の状況としては、介護従事者養成校と連携を図っている。

介護人材の評価指標がこのままであれば、来年度には点数と交付金に反映されるのではないかと。この評価指標及び配点は毎年度変わるが、介護人材に関しては縮小されることはないの見込んでいます。

《委員》

この交付金は介護保険料に充当できるとのことだが、介護保険全体で見るとこの交付金はどれくらいの比率になるのか。

また、介護保険料の徴収額とのバランスはどうなっているのか。

《事務局》

本交付金は介護保険料に充当できるため、第1号保険料上昇抑制に繋がっている。第1号保険料は、第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（以下「第9期計画」という。）では令和6年度は年間約46億円を見込んでいる。第9期計画の介護保険料基準額は第8期計画と比較すると、110円減額となっている。理由の1つとして、新型コロナウイルス感染症の影響による事業所の営業休止等により、介護給付費の伸びが抑制されたことが挙げられる。第1号保険料全体における本交付金が占める割合はわずかなが、引き続き積極的に確保に努めたい。

《委員長》

新型コロナウイルス感染症による介護給付費への影響に関連して、サービス提供・適正化の観点で松本市の状況はどうか。

《委員》

ケアプラン点検等の適正化事業に関しては、適正に行われているのではないと思う。ただ、福祉用具購入事業に関しては、購入した方が介護給付費が抑制されるが要件が厳しいということがある。住宅改修事業は業者選定が重要だと思う。

《委員長》

他にあるか。

《委員》

把握できていない部分はあるが、事業所としては適正に実施しているつもりである。介護保険料が下がったことは良いことだが、訪問介護や通所介護は、新型コロナウイルス感染症の影響で受けたくても受けられない状況がある。コロナが明けて状況がどうなるかということと、介護人材確保については、注視していかなければと思う。

《委員長》

医療連携についてはどうか。

《委員》

松本市を中心に医師会とも連携を取りながら、顔の見える医療介護連携を進めつつ、ITネットワーク化を進めていく必要があると感じている。

《委員長》

他はよろしいか。では次に進みます。

ウ 地域密着型サービス事業者等の指定について、事務局から資料に基づき説明があった。

【質疑応答】

なし

(2) 協議事項

ア 令和7年度における施設・居住系サービス事業者の公募について、事務局から資料に基づき説明があった。

【質疑応答】

《委員》

施設について、国の予算が減ったり事業運営が成り立たないという報道を目にする。松本市の実態としてはどうか。

《事務局》

次の資料5の話とも共通するが、新規の施設整備への補助金はある。しかし、施設整備の要望はあるが、実際運用するにあたっては先ほどの課題にも挙げたように介護人材不足の問題がある。介護保険制度創設当初は特別養護老人ホームの数が足りなかったが、今は床数はあるが介護人材不足で運営が成り立たないという状況になっている。

施設整備については、2回ほど事業所に意向調査を実施し、第9期計画に反映している。物価高騰や介護人材不足等、事業所にとっては厳しい状況であることも理解している。

《委員》

訪問介護の人件費が引き下げられたという話を聞いた。訪問介護は重要な仕事だと思う。どういうところからそういう話が出てきているのか。参考になる話があれば教えてほしい。

《事務局》

おっしゃるとおり、令和6年4月の介護報酬改定で訪問介護の報酬が下げられた。報酬単価は国で決められていて、都市部・地方関わらず一律となっている。この件については、松本市議会において訪問介護の介護報酬引下げの撤回と介護報酬引上げについて請願が出されている。今後も国の動向を注視していきたい。

また、市独自に訪問介護事業所にアンケート調査を実施した。今回御意見いただいたということもあるので来年度の本分科会で報告したい。

《委員》

施設整備計画としては良いと思う。介護人材確保については、松本市として取組んでいることも分かったので次期計画にも反映してもらいたい。また、高齢者が安心して暮らせるような安定した補助を地方自治体から国に要望してほしい。

《委員長》

事務局の方には御留意いただけたらと思う。

協議事項1件目については、議論いただき、御賛同いただけたということによろしいか。また、本件の審査項目に関しては継続審議とし、来年度決定としたい。

イ 令和7年度における地域密着型サービス事業者等の公募について、事務局から資料に基づき説明があった。

《委員長》

方向性としては、協議事項1件目と同様かと思う。いかがか。

	【質疑応答】 なし 《委員長》 よろしいでしょうか。では、本件に関しても事務局からの提案のとおり進めるということとしたい。 それでは、予定されていた協議事項は以上となる。他に何かあればお願いしたい。 《委員》 介護人材確保について、今年度松本市・事業所・学生が連携して出前講座を行った。介護の仕事に興味を持ってもらうために、小中学校に伺って話をした。即効性はないが幼い頃から興味を持ってもらい、介護の仕事を選んでもらうために重要だと考えている。松本市内は大きな商業施設の閉店が続くということで何とか介護事業にも目を向けてもらえないかと考えている。 令和6年秋に長野労働局との会議に高木高齢福祉課長にも御参加いただいた。その中で、介護人材についても窓口となって進めてほしい旨を長野労働局をお願いをしたところである。 《委員長》 ありがとうございました。時間となったので本日の議事は終了とする。事務局の方、お願いします。
その他	4 その他 なし
閉会	5 閉会 《事務局》 以上を持って、第3回松本市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会を終了します。ありがとうございました。